

講演会 「リオから SDGs へ～水を通してみると～」開催

29名が参加
されました

2022年1月30日(日) 14:00~16:30 於：奈良県文化会館小ホール
コロナ禍の中、感染予防対策をして開催しました。講師は尾田栄章(ひであき)さん。元建設省河川局長、人と水・行基研究家です。生協関係者、行政、NPO、市民が参加され、おてんとさんとしては、今までにない「水の歴史」の視点からSDGsを考えました。



講師の尾田栄章さん



会場はコロナ対策で空間を広く取って実施



■講演内容

古代から水は重要な資源であり、人類は水を求めてアフリカから世界各地に旅立った。SDGsの前身であるMDGsや世界水フォーラムに関わられた尾田さんは、安全な水と適切な衛生施設はMDGsに大きく寄与しており、途上国での水くみに女性や子どもが重労働を強いられて教育を受けられないといったように、MDGsの目標の3分の1以上は「水問題」を解決すれば達成できることだったといいます。国連でMDGsができた背景やSDGsに移行した歴史、MDGsとSDGsの違いなどもお話しいただきました。

中東やアフリカなど井戸を掘って水を得る国と、川から水を得る日本とでは、認識があまりにも違う。国連では日本のように「洪水」が起こることは考えられていなかった。水の「質」も考えることが必要だと話されました。

「概念の違いをお互いに共有して、ケースバイケースでお互いが真剣に解決すべき問題を見つめて話し合うことで解決していける糸口が見つかると思う。お互いがしなやかに考えて行くことが大切だ」と話されました。

水の視点からSDGsを考えゴールを目指すことは、地球温暖化防止にも大きく影響し、解決策のひとつになると感じました。

尾田さんの「行基さん」のお話は「聞きたい」という要望が高く、2022年5月25日おてんとさんの総会記念講演会では「行基と長屋王の時代～律令国家・日本の基盤はどのように築かれたのか?」というテーマで講演をしていただき、定員いっぱいの51名が参加されました。

■予 定■

2月10日(金) 14:00~16:30 奈良県コンベンションセンター会議室204	講演会「脱炭素革命の挑戦～世界の潮流と日本の課題」 講師 堅達京子さん(NHKエンタープライズ・エグゼクティブ・プロデューサー)
3月11日(土) 10:30~11:30 きららの木市民共同発電所点灯式	「きららの木市民共同発電所」点灯式 寄付をいただいた方には、ご案内をお送りいたします。

会 員 募 集 中 !

サークルおてんとさん 年会費 正会員 3,000円
準会員 1,000円

お問合せ e-mail: otentosan02@yahoo.co.jp

再生可能エネルギーの普及を進めます

特定非営利活動法人

サークルおてんとさん

理事長 清水順子

<https://www.otentosan.net/wp/>